



Monthly Retail Sales Report (2011年3月号)

売上高		10年3月	10年4月	10年5月	10年6月	10年7月	10年8月	10年9月	10年10月	10年11月	10年12月	11年1月	11年2月	11年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	通期	
土日祝日数	前年比(日)	-1	±0	±0	±0	+1	-1	-1	+1	-1	±0	±0	±0	±0	-1	±0	-1	±0	±0	-1	±0	-1	
全店	額(百万円)	22,530	23,569	20,006	20,475	24,707	22,947	19,771	20,265	24,845	35,180	22,961	18,452	21,399	274,578	64,051	67,426	80,289	62,812	131,477	143,101	274,578	
	前年比(%)	-12.1	-1.7	-2.2	-7.5	-2.2	-3.5	-0.1	3.5	-1.0	3.3	6.2	2.7	-5.1	-0.6	-3.8	-2.0	2.0	1.1	-2.9	1.6	-0.6	
	スーパーオートバックス	前年比(%)	-9.6	-1.4	-2.0	-7.6	-2.1	-3.1	-1.4	2.7	-3.9	2.0	3.7	3.4	-8.3	-1.6	-3.7	-2.3	0.3	-0.8	-2.9	-0.2	-1.6
オートバックス※	前年比(%)	-13.3	-1.8	-2.2	-7.5	-2.2	-3.7	0.6	3.9	0.3	3.8	7.3	2.4	-3.6	-0.2	-3.8	-1.9	2.7	1.9	-2.9	2.4	-0.2	
既存店	前年比(%)	-11.7	-1.7	-2.2	-7.2	-2.0	-3.2	0.3	3.7	-0.9	3.3	6.2	2.3	-5.6	-0.6	-3.7	-1.8	2.1	0.8	-2.7	1.5	-0.6	
	スーパーオートバックス	前年比(%)	-9.6	-2.3	-2.0	-7.2	-2.1	-3.1	-1.4	2.7	-3.9	2.0	3.7	3.4	-8.3	-1.6	-3.8	-2.3	0.3	-0.8	-3.0	-0.2	-1.6
	オートバックス※	前年比(%)	-12.7	-1.4	-2.3	-7.2	-1.9	-3.2	1.1	4.1	0.4	3.9	7.3	1.8	-4.5	-0.1	-3.6	-1.5	2.8	1.5	-2.5	2.2	-0.1
部門別売上高 前年比(%)		10年3月	10年4月	10年5月	10年6月	10年7月	10年8月	10年9月	10年10月	10年11月	10年12月	11年1月	11年2月	11年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	通期	
既存店	サービス	-10.3	2.6	3.6	-1.8	0.0	-0.9	5.9	8.4	3.3	3.7	6.2	5.1	-0.5	2.8	1.5	1.4	4.9	3.3	1.5	4.1	2.8	
	車検・整備	7.9	14.1	11.1	8.3	6.8	5.2	7.7	5.1	2.2	4.1	6.8	4.5	5.6	6.6	11.1	6.6	3.8	5.6	8.7	4.8	6.6	
	タイヤ	-5.4	8.4	7.5	-4.6	3.7	-6.7	-0.9	11.1	10.9	18.9	20.8	10.2	-4.8	7.7	4.1	-1.4	14.7	8.8	1.3	12.6	7.7	
	ホイール	-8.6	2.8	9.1	-0.5	11.6	4.7	3.1	9.7	13.2	16.3	26.1	7.1	-9.6	10.0	3.7	6.7	14.3	9.1	5.1	12.7	10.0	
	カーエレクトロニクス	-25.9	-14.6	-14.6	-16.5	-10.8	-7.8	-1.0	-5.1	-16.4	-16.3	-7.6	-4.8	-10.0	-11.0	-15.3	-7.3	-13.4	-7.8	-11.2	-10.8	-11.0	
	オイル	-2.2	-2.7	-3.7	-4.4	-1.5	-1.8	-6.8	0.2	-0.4	-3.9	-2.3	0.4	-7.0	-2.9	-3.6	-3.3	-1.5	-3.1	-3.4	-2.3	-2.9	
	バッテリー	-0.9	5.9	-0.2	-3.3	5.5	12.2	15.1	8.4	-2.4	-3.8	15.9	-3.9	13.8	5.4	0.8	11.1	-0.1	9.4	7.0	4.2	5.4	
	メンテナンス	4.6	8.0	2.8	4.6	3.0	0.0	0.4	13.6	4.7	28.1	31.9	27.0	9.0	14.3	5.2	1.1	19.1	24.2	3.2	21.6	14.3	
	アクセサリ	-2.7	1.2	-1.7	-1.3	5.9	2.4	0.7	2.3	-7.1	-9.3	-6.1	-4.5	-9.7	-2.1	-0.5	3.1	-5.1	-6.9	1.3	-6.0	-2.1	
	カーリペア	-3.9	-0.1	5.8	-3.2	3.6	-6.9	-9.4	-1.3	10.3	-3.4	3.3	0.8	-8.4	-0.9	1.1	-4.3	1.2	-1.6	-1.6	-0.1	-0.9	
	カースポーツ	-0.1	0.5	-5.5	-4.2	-2.4	-3.7	-4.7	0.8	-6.1	-6.3	-8.4	-9.9	-15.1	-5.4	-3.0	-3.6	-4.3	-11.1	-3.3	-7.4	-5.4	
	カーレジャー	-9.5	-9.2	-12.8	-17.6	-5.5	-14.5	-2.1	-7.7	-3.6	-19.3	-24.0	-20.4	-15.5	-12.7	-13.1	-8.0	-11.0	-20.0	-10.4	-15.5	-12.7	
	モーターサイクル	-20.3	-12.1	-10.8	-9.9	9.2	-14.3	-8.1	-30.4	51.5	14.5	38.5	-11.9	64.5	3.4	-11.0	-4.5	6.3	32.1	-7.9	18.6	3.4	
客数		10年3月	10年4月	10年5月	10年6月	10年7月	10年8月	10年9月	10年10月	10年11月	10年12月	11年1月	11年2月	11年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	通期	
全店	人数(千人)	3,129	3,415	3,217	2,851	3,265	3,399	2,846	2,898	3,028	3,844	3,194	2,680	2,907	37,544	9,483	9,511	9,770	8,781	18,993	18,551	37,544	
	前年比(%)	-8.0	-0.9	-0.6	-3.5	0.1	-2.2	-2.0	1.5	-0.2	-2.4	0.4	-1.3	-7.1	-1.5	-1.6	-1.4	-0.6	-2.7	-1.5	-1.6	-1.5	
	スーパーオートバックス	前年比(%)	-6.6	-0.2	-0.9	-3.8	-0.3	-2.6	-2.7	0.7	-2.2	-2.2	-0.5	-1.2	-10.2	-2.2	-1.5	-1.9	-1.3	-4.1	-1.7	-2.6	-2.2
オートバックス※	前年比(%)	-8.5	-1.2	-0.5	-3.4	0.3	-2.0	-1.8	1.8	0.6	-2.4	0.7	-1.4	-6.0	-1.3	-1.6	-1.2	-0.3	-2.2	-1.4	-1.2	-1.3	
既存店	前年比(%)	-7.5	-0.8	-0.6	-3.2	0.4	-1.9	-1.6	1.7	0.0	-2.3	0.5	-1.7	-7.7	-1.4	-1.4	-1.0	-0.4	-3.0	-1.2	-1.7	-1.4	
	スーパーオートバックス	前年比(%)	-6.6	-1.1	-0.9	-3.5	-0.3	-2.6	-2.7	0.7	-2.2	-0.5	-1.2	-10.2	-2.2	-1.8	-1.9	-1.3	-4.1	-1.8	-2.6	-2.2	
	オートバックス※	前年比(%)	-7.9	-0.6	-0.5	-3.0	0.7	-1.6	-1.1	2.0	0.8	-2.3	0.8	-1.8	-6.7	-1.1	-1.3	-0.7	-0.1	-2.6	-1.0	-1.3	-1.1
客単価		10年3月	10年4月	10年5月	10年6月	10年7月	10年8月	10年9月	10年10月	10年11月	10年12月	11年1月	11年2月	11年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	通期	
既存店	前年比(%)	-4.6	-1.0	-1.7	-4.2	-2.4	-1.4	1.9	1.9	-0.9	5.7	5.6	4.0	2.1	0.8	-2.3	-0.8	2.5	3.9	-1.5	3.1	0.8	
客数(全店)		10年3月	10年4月	10年5月	10年6月	10年7月	10年8月	10年9月	10年10月	10年11月	10年12月	11年1月	11年2月	11年3月	今期累計	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	上期	下期	通期	
その他業態	額(百万円)	1,934	1,371	1,256	1,320	1,507	1,456	1,731	1,290	1,292	1,510	1,198	1,581	1,965	17,474	3,947	4,693	4,091	4,744	8,640	8,824	17,474	
	前年比(%)	22.6	5.8	7.6	5.7	10.9	20.2	17.1	-0.3	-3.7	-1.9	1.5	9.9	1.5	6.0	6.3	15.9	-2.0	4.2	11.3	1.2	6.0	
全業態	額(百万円)	24,464	24,940	21,262	21,795	26,213	24,403	21,502	21,554	26,136	36,690	24,158	20,033	23,364	292,052	67,998	72,119	84,380	67,556	140,116	151,936	292,052	
	前年比(%)	-10.1	-1.3	-1.6	-6.8	-1.5	-2.3	1.1	3.3	-1.1	3.1	5.9	3.3	-4.5	-0.2	-3.2	-1.0	1.8	1.3	-2.1	1.6	-0.2	
客数(全店)	人数(千人)	19	20	18	15	16	16	15	16	17	22	18	13	14	199	53	47	54	44	100	98	199	
	前年比(%)	-25.9	-16.1	-18.1	-23.0	-25.9	-30.6	-16.0	-11.3	-15.6	-7.7	-8.0	-32.5	-26.0	-19.3	-18.8	-24.8	-11.3	-22.1	-21.7	-16.5	-19.3	
全業態	人数(千人)	3,147	3,435	3,235	2,866	3,281	3,415	2,861	2,913	3,045	3,866	3,211	2,693	2,920	37,743	9,536	9,558	9,824	8,825	19,094	18,649	37,743	
	前年比(%)	-8.1	-1.0	-0.7	-3.6	0.0	-2.4	-2.1	1.4	-0.3	-2.4	0.3	-1.5	-7.3	-1.7	-1.7	-1.5	-0.6	-2.9	-1.6	-1.7	-1.7	

2011年3月度 (特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)

【概要】前年同月比売上は全店ベースで▲5.1%、既存店ベースで▲5.6%。地震の被災地域(東北、北関東)において、一部の商品を除き全般的に売上が減少。また、ガソリン不足に伴い、被災地を含む広範囲で売上がさらに落ち込む局面があったが、月末に向けてガソリンの供給が戻ったのと合わせて、売上も全般的に回復傾向。なお、関西や南日本では、地震の影響は軽微で前年比プラスを維持した。全店ベースの商品別売上高増減額は▲11.3億円。主な増加はメンテナンス+1.2億円、バッテリー+1.0億円など。主な減少はカーエレクトロニクス▲5.7億円、アクセサリ▲2.2億円、カースポーツ▲2.1億円など。

【特徴的な要素】①全国的にバッテリー、緊急・安全用品の売上が堅調。②被災地域以外においてもアクセサリ、洗車用品、スポーツ用品など嗜好性の高い商品の売上は減少した。③関西、南日本では夏タイヤへの履き替えや地デジチューナー、ナビゲーションの売上が好調。

【商品別】**タイヤ・ホイール**: 震災の直接的な影響に加え、販促活動も実施しなかったため、前年比で売上が減少した。ただし、南日本などでは夏タイヤへの履き替えが進み、タイヤ・ホイール共に前年比プラス。全体的には履き替えは4月以降にずれ込んでいる模様。**カーエレクトロニクス**: 被災の影響とETC関連商品の減少でカーエレクトロニクス全体としては前年比マイナス。ただし、地デジ関連需要として据え置き型ナビゲーションと地デジチューナーは特に関西・西日本において好調。**バッテリー**: 全国的に緊急用としての需要が高まり好調。**メンテナンス**: 家電用品を自動車の中で使用するためのインバーター、ガソリン携行缶、ジャッキ、けん引ロープ、LEDライトなどの売上が好調。**アクセサリ**: 新車売上減少の影響などにより、被災エリアを中心に前年比マイナス。**車検**: 先月同様、店舗における車検台数増加の取り組みにより台数が伸長。全店ベース台数前年比+14.4%、金額前年比+6.2%。**車販売**: 被災地域を中心に売上が落ち込むものの、中部・関西では店舗での買取に対する取り組みが活発で好調。全店ベースで台数前年比+6.5%、金額前年比+6.6%。

出店、退店状況 3月度 国内: 新店2、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店5、退店0、海外: 出退店なし
3月末 国内店舗数: 512店舗(オートバックス404、スーパーオートバックス76、オートハローズ5、オートバックス走り屋天国セコハン市場20、オートバックスエクスプレス7)

・最新データにつきましては、速報値となっています。尚、過去に遡って調整が入る場合も御座います。
 ・※オートハローズを含みます
 ・「その他業態」は、オートバックスカーズ(全店)、オートバックス走り屋天国セコハン市場が対象となっています。
 ・「全業態」は、スーパーオートバックス、オートバックス、オートハローズと「その他業態」の合計値となっています。

2010年4月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】 前年同月比の売上は全店ベースで▲1.7%、既存店ベースで▲1.7%。売上増減要素:①昨年、ETC車載器を対象とした高速道路の大幅値引きとETC購入助成金支給に伴い、ETC販売および取付が好調だった反動。取付工賃も含めると前年比約11億円の減少。②タイヤの新聞広告実施、カーナビゲーションのTVCMの実施などによる販促効果。③3月に気温が低かったためタイヤの履き替えが4月にずれ込んだこと。前年比はマイナスだが、会社計画は達成で好スタートを切る事ができた。全店ベースの商品別売上高増減額は▲3.8億円。主な減少は、カーエレクトロニクス▲9.9億円、主な増加はタイヤ+3.5億円、メンテナンス+0.9億円。	
【商品別】 サービス:ETC取付工賃の減少をタイヤ交換工賃、車検などで補う。 タイヤ・ホイール :新聞広告の実施により大きく伸びず。中旬以降の気温上昇に伴い履き替えが進む。消費者のエコタイヤへの関心が高まり、売場での訴求も奏功し、売上好調。 カーエレクトロニクス :①ETCの減少、②ナビゲーションはTVCM効果で数量が6%増加したが、廉価帯が良く売れたため金額ベースではマイナス、③地デジチューナーやドライブレコーダーなどの商品は好調。 バッテリー :中旬までは例年より気温が低かったため、販売数量・金額ともに前年比プラス。 メンテナンス :HIDバルブが好調。降雨が多かったことによるワイパーブレードの売上増。DIY商品の静音キットが持続的に好調。 車検 :全店ベースで台数前年比117.6%、金額113.9%。 車販売 :全店ベースで台数前年比117.2%、金額116.5%。	
出店、退店状況	4月度 新店1(AB練馬店)、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店1(AB桶川店)、退店0
	4月末 国内店舗数: 512店舗(オートバックス 397、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 8、オートバックス走り屋天国セコハン市場 25、オートバックスエクスプレス 6)

2010年5月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】 前年同月比の売上は全店ベースで▲2.2%、既存店ベースで▲2.2%。売上増減要素:①昨年ETC販売および取付が好調だった反動。取付工賃も含めると前年比約8億円の減少。②夏タイヤへの履き替えがずれ込んだことによるタイヤ売上の好調。③ゴールドenウィークが好天だったことにより洗車用品、ロングドライブグッズなどが好調だった。全店ベースの商品別売上高増減額は▲4.3億円。主な減少は、カーエレクトロニクス▲7.6億円、カースポーツ▲0.7億円。主な増加はタイヤ+2.4億円、サービス+1.2億円、カーリペア+0.5億円。 サービス :ETC取付工賃の減少をタイヤ交換工賃、車検などで補う。 タイヤ・ホイール :冬タイヤからの履き替えにより北日本、北陸、甲信越を中心に好調。ホイールは価格の見直しにより販売数量が伸び前年比プラスとなった。 カーエレクトロニクス :①ETCの減少、②数量ベースではインダッシュナビ、PND共にプラスだったが、単価下落のため金額ベースではマイナス、③地デジチューナー、バックカメラなどは金額、数量ともに好調。 オイル :PBのラインナップ強化によりPBの売上は上がったが、NBの売上が減少し、全体としてマイナスとなった。 バッテリー :数量ベースではプラスだったが、値下げ実施したため金額ベースでは若干マイナス。 メンテナンス :販促効果によるHIDバルブ、GWの行楽ドライブの影響による安全用品、空気清浄機などが好調。 カーリペア :GWが好天だったことや「洗車の日」の洗車グッズキャンペーンの展開により売上増加。車検:全店ベースで台数前年比115.2%、金額110.9%。 車販売 :全店ベースで台数前年比109.1%、金額119.9%。本部による店舗指導の効果が徐々に現れてきている様子。	
出店、退店状況	5月度 新店0、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店2(AB旭川豊岡・AB小樽店)、退店1(SH寝屋川店)
	5月末 国内店舗数: 511店舗(オートバックス 399、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 6、オートバックス走り屋天国セコハン市場 24、オートバックスエクスプレス 6)

2010年6月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】 前年同月比の売上は全店ベースで▲7.5%、既存店ベースで▲7.2%。売上増減要素:①好天が続いた昨年6月に比べ、南日本の豪雨などもあり、客数が減少。②昨年好調だったETC販売および取付の反動(ETC車載器と取付で▲12.8億円)。 【主な増減】 全店ベースの商品別売上高増減額は▲16.5億円。主な減少は、カーエレクトロニクス▲12.5億円、タイヤ▲1.5億円、サービス▲0.7億円など。主な増加はメンテナンス+0.4億円。 タイヤ・ホイール :省燃費タイヤや新聞広告を行ったNBタイヤの売上は好調だったものの相対的に価格優位性が薄れたPBタイヤなどの売上が大幅に下落。ホイールは数量ベースでは前年プラス。 カーエレクトロニクス :①ETCは昨年の反動により金額ベースで7割強の減少、②組み込み型のナビゲーションは新車販売の好調を受け、金額ベースで前年比約10%のプラス、ポータブルナビは昨年の反動もあり金額ベースで前年比3割弱のマイナス、③地デジチューナーは引き続き好調で金額ベースで前年比プラス70%。 オイル :南日本の豪雨や全国的な降雨の影響もあり売上は数量・金額ベースの両方で減少。 メンテナンス :ワイパーブレードや除菌効果の認知が広がり空気清浄器などが好調。 カーリペア :降雨が多かったことにより洗車グッズが不振。 車検 :車検の代わりに新車購入をする動きもあり、前年伸び率は数量・金額ベースともに10%前後に留まる。全店ベースで台数前年比+11.1%、金額+7.9%。 車販売 :全店ベースで台数前年比+13.3%、金額+15.5%。	
出店、退店状況	6月度 新店0、リロケーション/スクラップ&ビルドによる開店2(AB・刈谷、AB鈴鹿)、退店0
	6月末 国内店舗数: 511店舗(オートバックス 399、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 6、オートバックス走り屋天国セコハン市場 24、オートバックスエクスプレス 6)

2010年7月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】 前年同月比の売上は全店ベースで▲2.2%、既存店ベースで▲2.0%。売上増減要素:①猛暑や豪雨、新車販売台数増加に伴う各種カー用品需要の増加。②昨年好調だったETC車載器販売の反動減。③タイヤ・ホイールを中心とした大型販促の実施による売上増。全店ベースの商品別売上高増減額は▲5.3億円。主な増加はアクセサリー+1.5億円、タイヤ+1.3億円、ホイール+0.5億円。主な減少は、カーエレクトロニクス▲9.1億円(ETC関連で▲14.5億円)、カースポーツ▲0.3億円など。 タイヤ・ホイール :新聞広告を使った大型販促により、低燃費タイヤを含むNBタイヤや専売タイヤが伸長した。ホイールも新聞広告が功奏し、NB・PBともに伸長。タイヤ・ホイールともに金額、数量で前年実績を上回った。 カーエレクトロニクス :①オーディオ一体型のナビゲーションは新車販売の好調を受け、金額ベースで前年比2割強のプラス、ポータブルナビは昨年の反動もあり金額ベースで前年比2割弱のマイナス、②ETC車載器は昨年の反動により金額ベースで7割強の減少、③地デジチューナーは引き続き好調で金額ベースで前年比2倍強の売行き。 バッテリー :猛暑の影響と店舗における点検作業により好調。 アクセサリー :猛暑により日除け類が前年比約1.5倍の売上。 メンテナンス :空気清浄器が金額ベース前年比約3倍の売れ行き。三角停止板、非常信号灯、応急安全セットなどの安全用品も好調。 カーリペア :強い日差しと突発的な豪雨などにより洗車用品全般が好調。 車検 :6月に引き続き、車検の代わりに新車購入をする動きも見られ、前年伸び率は数量・金額ベースともに鈍化。全店ベースで台数前年比+8.5%、金額+6.6%。 車販売 :新車販売の好調もあり、全店ベースで台数前年比+18.8%、金額+23.0%。カーリペア:強い日差しと突発的な豪雨などにより洗車用品全般が好調。	
出店、退店状況	7月度 新店0、リロケーション/スクラップ&ビルドによる開店1(AB飯塚)、退店1
	7月末 国内店舗数: 511店舗(オートバックス 399、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 6、オートバックス走り屋天国セコハン市場 24、オートバックスエクスプレス 6)

2010年8月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】 前年同月比の売上は全店ベースで▲3.5%、既存店ベースで▲3.2%。売上増減要素:①猛暑に伴いバッテリーや日除け類の需要が増加。②ETC車載器販売の反動減はあったもののカーナビゲーションの販売は好調。③タイヤは、特にお盆前までの売上が伸び悩み前年割れ。全店ベースの商品別売上高増減額は▲8.1億円。主な増加はバッテリー+1.1億円、アクセサリー+0.6億円。主な減少は、カーエレクトロニクス▲5.3億円(うちETC関連が▲9.9億円)、タイヤ▲2.7億、カーリペア▲0.6億、カースポーツ▲0.5億円など。 【商品別】 タイヤ・ホイール : 月初は前月から実施していた大型販促の効果もあり好調だったが、その後はお盆前まで失速。エコタイヤ人気でNB商品は前年増だったが、それ以外は前年割れ。ホイールは小型車向けの廉価帯商品を中心に引き続き好調。 カーエレクトロニクス :①ナビゲーションは、新車販売の好調を受けオーディオ一体型を中心に引き続き好調(金額ベース+18.5%)。ポータブルナビは好調だった前年の反動はあったが数量では前年増。②ETC車載器は昨年の反動により金額ベースで6割超減少。③地デジチューナーは好調で金額ベースで前年比2倍強の売行きが継続。 バッテリー :猛暑の影響と店舗における点検作業により引き続き好調。 アクセサリー :猛暑の影響より日除け類の売上が金額ベースで前年比約1.4倍と、引き続き大きく伸長。 メンテナンス :空気清浄器は金額ベースで前年比3倍弱と引き続き好調。一方、全国的に降雨が少なかったことが影響しワイパーブレードは前年割れ。 カーリペア :降雨がなかったことが影響し、洗車関連用品は売上が全般的に不調。一方、新商品「携帯シャワー」は、猛暑の影響もあり大ヒット中。 車検 :新車販売の好調を受け、引き続き前年伸び率は数量・金額ベースともに鈍化した。全店ベースで台数前年比+7.9%、金額+4.9%。 車販売 :新車購入補助金獲得のための駆け込み需要により、好調。全店ベースで台数前年比+26.1%、金額+38.8%。	
出店、退店状況	8月度 新店0、リロケーション/スクラップ&ビルドによる開店0、退店0
	8月末 国内店舗数: 511店舗(オートバックス 399、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 6、オートバックス走り屋天国セコハン市場 24、オートバックスエクスプレス 6)

2010年9月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】 前年同月比の売上は全店ベースで▲0.1%、既存店ベースで+0.3%。売上増減要素:①8月に引き続いて猛暑によりバッテリーや日除け類の売上が増加。一方で、洗車用品の売上は減少。②新車販売の増加に伴い、カーナビゲーション、ホイールなどが好調。③ETC車載器販売の前年との差額は縮小傾向。全店ベースの商品別売上高増減額は▲0.2億円。主な増加はサービス+2.0億円、バッテリー+1.2億円、ホイール+0.1億円。主な減少は、オイル▲0.8億、カーリペア▲0.7億、カーエレクトロニクス▲0.6億円(うちETC関連が▲3.3億円)、カースポーツ▲0.6億円、タイヤ▲0.4億円など。 【商品別】 タイヤ・ホイール :数量は前年比プラスだったものの単価ダウンの影響を受け、前年割れとなった。ただし、エコタイヤ人気などにより一部NB商品は好調。ホイールはドレスアップホイールが好調。 カーエレクトロニクス :新車販売の好調を受けオーディオ型ナビゲーションの売上が好調(金額ベース+12.9%)。お客様の安全志向の高まりもありバックカメラの売上も好調。ETC関連売上は金額ベースで約4割減となったが、需要は底堅く前年との差額は縮小傾向。 バッテリー :猛暑の影響により引き続き好調。 アクセサリー :猛暑により日除け類が引き続き好調。また新車販売の増加に伴いシートカバーやフロアマットも好調。新製品の導入により芳香剤も好調。 メンテナンス :雑音低減用品「静音計画」の販売が好調でメンテナンス全体の売上を押し上げた。 カーリペア :猛暑が続いたことにより、洗車関連用品は不調。 車検 :新車販売の好調やディーラーの囲い込みなどにより、前年伸び率は数量・金額ベースともに鈍化。全店ベースで台数前年比+9.6%、金額+7.5%。 車販売 :新車購入補助金制度の影響により好調。全店ベースで台数前年比+20.9%、金額+24.7%。	
出店、退店状況	9月度 新店0、リロケーション/スクラップ&ビルドなどによる開店 1(オートバックス大和郡山)、退店0
	9月末 国内店舗数: 511店舗(オートバックス 399、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 6、オートバックス走り屋天国セコハン市場 24、オートバックスエクスプレス 6)

2010年10月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	売上前年同月比は全店ベースで+3.7%、既存店ベースで+3.5%。前年同月より日曜日が1日多かったことによる押し上げ効果もあり全体的に好調。売上増減要素:①スタッドレスタイヤを含めたタイヤの売上増。②降雪効果も手伝ってメンテナンス関連の売上増。③ETC車載器販売の前年との差額縮小。全店ベースの商品別売上高増減額は+7.0億円。主な増加はタイヤ+3.7億円、サービス+2.8億円、メンテナンス+1.3億円など。主な減少はカーエレクトロニクス▲2.5億円。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 昨年度は新聞広告により好調だったがそれを上回った。北海道における降雪により降雪エリア中心にスタッドレスタイヤやスタッドレス用の低価格ホイールが好調。 カーエレクトロニクス: 手ごろな価格帯のオーディオ一体型ナビの品揃え強化により、数量ベースで伸長(金額ベースでは前年並み)。地デジチューナーが数量ベースで前年比+約170%と売場での訴求が奏効。ETC関連売上は金額ベースで前年より約3割減で差額は縮小傾向。 オイル: 値下げによる単価下落の影響一巡もあり、数量・金額ともにプラス。 バッテリー: 気温変化が激しかったことから交換需要拡大。 アクセサリ: 新製品の導入ベースが落ち着き伸び率鈍化。但し、新車登録の継続により、シートカバーや芳香剤関連などインテリアや車内アクセサリは引き続き好調。 メンテナンス: ワイパーブレード、HID、スポーツバルブ、空気清浄器の売上が好調。降雪によるジャッキなどのメンテナンス商品も伸張。 車検: 全店ベースで台数前年比117.6%、金額113.9%。 車販売: 新車の販売台数が減退したが、中古車の査定をさらに強化したことにより前年比プラスが継続。全店ベースで台数前年比114.1%、金額113.2%。
出店、退店状況	10月度 新店1 (EXP砺波)、リロケーション/スクラップ&ビルド(業態変更含む)による開店4 (AB江別店、AB明石店、AB砺波、AB横須賀佐原店)、退店0
	10月末 国内店舗数: 512店舗(オートバックス400、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 5、オートバックス走り屋天国セコハン市場 24、オートバックスエクスプレス 7)

2010年11月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比の売上は全店ベースで▲1.0%、既存店ベースで▲0.9%。前年同月より日曜日が1日少なかったことを考慮すると数字以上に堅調。売上増減要素:①新聞広告などグループ全体における販促強化によりタイヤ・ホイールの販売が好調、②9月までの状況とは逆に、新車販売の減少に伴いナビゲーションやアクセサリ類の売上が不調。全店ベースの商品別売上高増減額は▲2.3億円。主な増加はタイヤ+6.3億円、ホイール+1.6億円、カーリペア+0.7億円、メンテナンス+0.6億円など。主な減少はカーエレクトロニクス▲10.0億円、アクセサリ▲1.5億円、カースポーツ▲1.0億円など。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 新聞広告などを利用した全国的な販促効果により前年比では2カ月連続でニケタ台プラスとなる。上期に購入された新車に対するスタッドレスタイヤ需要もあったものと思われる。 カーエレクトロニクス: 新車販売の減少に伴いナビゲーションの売上が減少。地デジチューナーの売上は引き続き好調(金額ベース+180.2%)。ETC関連売上は金額ベースで前年より4割弱減少し、2億円強のマイナス。 バッテリー: 温暖な気候や前年が好調だった反動などにより減少。 アクセサリ: 新車販売台数の減少や新製品の導入が昨年よりも早まったことにより前年比はマイナスとなった。スマートフォン関連商品は好調。 メンテナンス: 温暖な気候が影響して冬用ワイパーブレードなどの季節商品を中心に低調。空気清浄器は引き続き好調。 車検: 全店ベースで台数前年比+5.8%、金額+2.1%。 車販売: 新車の販売台数減の影響を受け、12カ月ぶりにマイナスに転じる。全店ベースで台数前年比▲0.3%、金額▲0.6%。
出店、退店状況	11月度 国内:出退店なし、海外:出退店なし
	11月末 国内店舗数: 512店舗(オートバックス400、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 5、オートバックス走り屋天国セコハン市場 24、オートバックスエクスプレス 7)

2010年12月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	売上前年同月比は全店ベースで+3.3%、既存店ベースで+3.3%。売上増減要素:①日本海側を中心にした大雪によるスタッドレスタイヤ、ホイール、タイヤチェーンなど季節商材の売上増。②新車販売の減少と売れ筋の変化に伴うナビゲーションの減少およびETC車載器の反動減。③新車販売減少に伴うアクセサリ関連商品の落ち込み。全店ベースの商品別売上高増減額は+11.4億円。主な増加はタイヤ+16.1億円、メンテナンス+7.4億円、ホイール+3.3億円、サービス+1.8億円など。主な減少はカーエレクトロニクス▲11.9億円、アクセサリ▲2.5億円など。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 全グループ規模での品揃えと販売体制の強化をはかった。これに合わせて日本海側を中心に大雪となったことにより、スタッドレスタイヤとホイールの需要が大幅増加。 カーエレクトロニクス: 新車販売の減少、比較的低価格の据え置き型メモリーナビの販売台数増加、PNDの売上減少などの影響により、ナビゲーション全体の売上が減少した。ETC車載器は、昨年12月は駆け込み需要で好調だったが、その反動により今年は売上が減少。地デジチューナーの売上は引き続き好調で金額、数量ともに前年の約1.5倍。 バッテリー: 全体的には夏場に交換が進んだこと、お客様の優先順位としてタイヤ購入の方が高かったことなどにより伸び悩んだ。 メンテナンス: 降雪地域を中心にタイヤチェーンや冬用ワイパーの売上が大きく伸長。 車検: 新車販売好調が落ち着き、車の買い替えより車検を受ける消費者が増えつつある模様。全店ベース台数前年比+108.7%、金額前年比+104.0%。車販売:補助金終了の反動で新車販売は減少したが、中古車販売で取り戻し、全店ベースで台数前年比+107.6%、金額前年比+101.7%。
出店、退店状況	12月度 国内:出退店なし、海外:AUTOBACS Sriracha Store(タイ)
	12月末 国内店舗数: 512店舗(オートバックス400、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 5、オートバックス走り屋天国セコハン市場 24、オートバックスエクスプレス 7)

2011年1月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比売上は全店ベースで+6.2%、既存店ベースで+6.2%。売上増減要素:①日本各地の大雪によるスタッドレスタイヤ、ホイール、バッテリー、タイヤチェーンなど季節商品が好調。交換増に伴い、サービスも好調。②新車販売の減少によるナビゲーションやアクセサリの需要の減少は継続。③地デジへの完全移行まであと半年となる中、地デジ関連の売上が大きく上昇した。当社からは車の地デジ対応化の遅れなどを指摘した調査レポートを公表(1/21)。全店ベースの商品別売上高増減額は+13.5億円。主な増加はタイヤ+7.9億円、メンテナンス+6.2億円、サービス+2.1億円、ホイール+1.9億円など。主な減少はカーエレクトロニクス▲3.6億円、アクセサリ▲1.4億円、カースポーツ▲1.3億円など。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 各地での大雪を背景に、スタッドレスタイヤやホイールでの強い需要が継続。夏タイヤでも前年比プラスとなった。 カーエレクトロニクス: 新車販売台数の減少を反映し、カーナビゲーション売上的大幅減が継続。ただし、オーディオレス車の納入が伸びていることから、比較的低価格の据え置き型メモリーナビの販売台数が堅調を維持。地デジチューナーは数量・金額ともに前年の3倍近くまで大きく伸長。特にフルセグ対応のものの売上が前年比では数量ベース3倍以上の勢い。 バッテリー: 気温の低下に伴い、売上は対前年でプラスに転換。夏場の猛暑によるダメージなども影響している模様。 メンテナンス: 降雪地域を中心に季節商品(雪用ワイパーブレード、タイヤ交換関連商品)の売上が大きく伸長。乾燥やインフルエンザの流行もあり空気清浄器の売上が急拡大した。 車検: 電話コールによる勧誘や店舗における販促施策により台数ベースでは前月よりも回復傾向。全店ベース台数前年比+115.0%、金額前年比+106.8%。 車販売: 新車販売の低迷に伴い中古車市場でも玉不足の傾向だが、買取強化企画を展開したことなどにより売上は増加。全店ベースで台数前年比+100.3%、金額前年比+106.3%。
出店、退店状況	1月度 国内:退店2(オートバックス走り屋天国セコハン市場京都八幡店・オートバックス走り屋天国セコハン市場札幌店)、海外:出退店なし
	1月末 国内店舗数: 510店舗(オートバックス400、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 5、オートバックス走り屋天国セコハン市場 22、オートバックスエクスプレス 7)

2011年2月度	(特に記載がない場合は前年同月比は既存店ベースの数値)
【概要】	前年同月比売上は全店ベースで+2.7%、既存店ベースで+2.3%。売上増減要素:①関東地方の降雪によるスタッドレスタイヤとタイヤチェーン売上が増加。②南日本などにおける履き替え需要の取り込みなどによりタイヤ売上が増加。③カーナビゲーションの売れ筋価格の変化などによりカーエレクトロニクス売上が減少。
	全店ベースの商品別売上高増減額は+5.0億円。主な増加はメンテナンス+4.2億円、タイヤ+2.8億円、サービス+1.9億円など。主な減少はカーエレクトロニクス▲1.9億円、カースポーツ▲1.3億円、アクセサリ▲0.8億円など。
【商品別】	タイヤ・ホイール: 関東における降雪による冬タイヤ需要の増加と南日本における履き替え需要の取り込みにより、夏タイヤ・冬タイヤ共に売上が増加。 カーエレクトロニクス: カーナビゲーションは、据え置き型が数量ベースでは前年プラスだったが、単価が下がっているメモリーナビの販売台数が増加したため金額ベースでは減少。ポータブルも数量・金額ともに若干減少。売場を強化している地デジチューナーは、数量・金額ともに前年の3倍の売上。ETCの売上は前年比▲14%程度で影響は大きくない。 バッテリー: 全国的には厳冬が和らいできたこともあり売上減少。 メンテナンス: 関東地方での降雪によりタイヤチェーンの売上が増加。その他の降雪関連商品(ジャッキ、工具などのタイヤ交換関連商品)の売上が大きく伸長。引き続き空気清浄機の売上も好調。 アクセサリ: 新車売上減少の影響などを受けて、インテリア関連の売上などが減少。 車検: 店舗における車検台数増加の取り組みが奏功して台数が伸長。全店ベース台数前年比+11.2%、金額前年比+4.9%。 車販売: 新車需要は低下しているものの、店舗での買取強化により中古車売上が増加。全店ベースで台数前年比+17.9%、金額前年比+12.0%。
出店、退店状況	2月度 国内:新店0、退店0、海外:出退店なし
	2月末 国内店舗数: 510店舗(オートバックス400、スーパーオートバックス 76、オートハローズ 5、オートバックス走り屋天国セコハン市場 22、オートバックスエクスプレス 7)